

## 第 31 回群馬県理学療法士学会

### モーニングセミナー ～スポーツ理学療法～



ぐんまスポーツ整形外科  
武井 健児

スポーツ外傷・障害のリハビリテーションにおける最終的なゴールは、クライアントが望むパフォーマンスが不安なく発揮できることである。それに加え、可能な限り最短でゴールに到達することが重要となる。

クライアントの特徴や置かれた状況は様々であり、訴える症状は画像診断で損傷部位の構造的破綻が明らかにならないこともある。そのため、クライアントの訴えを理学療法士として受け止め、身体機能や動作を分析・評価し、組織損傷や痛み、二次的な機能低下、発生要因に分けて臨床推論を進めることが重要である。また、スポーツの特性からクライアントのパフォーマンスが重要視されるが、パフォーマンスを発揮するためには身体機能低下の改善が必要十分と考える。